

27年度 再編実施計画作成に向けた調査概要について

NO	調査項目	調査内容	具体的手法や特記事項	役割分担		
				日本総研	市	事業者
(1)	バス路線再編に関する調査	競合バス路線の再編等に関する具体的な方針の検討、及び再編に伴う効果を織り込んだ経営シミュレーションを実施し、バス路線再編案を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> ① 相浦方面を中心に競合バス路線の運行状況の整理を行うが、その区間のみでなく、路線の発着地区に至るバス路線の状況も検討対象としたうえで、単独路線のダイヤ1割減、競合路線のダイヤ3割減が可能かどうか具体的に検討を行い、ダイヤ削減方針を作成する。 ② その他の地区の競合路線についても同様の検討を行い方針を作成する。 ③ 競合していない単独路線について、現実的に削減可能なダイヤ案の方針を作成する。 ④ ダイヤの減少に伴い、定期券利用者の利便性低下を招かないように共通定期券等の導入可能性の検討を行う。 ⑤ 上記の検討の結果、バス経営に及ぼす効果についての経営シミュレーションを行うと共に、実現のための課題の整理を行う。その結果をみながら、必要となってくる調査や提案を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再編検討作業方針の提案、サポート ・再編方針の整理 ・必要となる改善案等の提案 ・ICカードデータの整理・加工等 ・経営シミュレーションの実施 ・共通定期券等の導入に係る方法論の提案 	<ul style="list-style-type: none"> ・再編案の調整、とりまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・再編案の具体的な検討 ・競合路線の検討 ・その他路線の検討 ・日本総研から提案を受ける改善案や共通定期券導入方法等の実現可能性の検討
(2)	新たなバス転回場の調査	行政施設や商業施設等の敷地を活用した新たな転回場の活用案について作成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・実現可能性も含めた調査を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・路線再編検討と併せて望ましい展開場の立地や活用の方角性についての提案（あるべき論の視点） 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共用地の活用の可能性についての調整等 	<ul style="list-style-type: none"> ・路線再編検討と併せて望ましい展開場の立地等を検討（実際の事業実施者としての視点）
(3)	鉄道とバスの連携策についての調査	<ul style="list-style-type: none"> ・主に佐々バスセンターや早岐駅における調査を中心とするが、タクシー乗り場が設置されているような他の地域の結節点も視野に入れ、効果的と見込まれる鉄道とバス、バスとバスの利便性向上に資する連携策を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・佐々バスセンターにおける鉄道とバスとの接続状況に係る現状調査、及び鉄道とバスとの連携方策について検討する。 ・早岐駅において、バスや鉄道の運行や利用に関する現状調査の実施、バスの系統変更や鉄道との連携、急行バスの可能性等について検討し、中長期的な方向性をまとめる。 ・その他、バスとバスの連携等、強化すべき交通結節点の検討も行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・佐々バスセンターおよび早岐駅等における左記の現状整理、分析 ・他の地域の交通結節点も視野に入れ、鉄道とバス、バスとバスとの連携方策についての提案 ・中長期的な方向性として、早岐駅における今後の鉄道とバスの連携策、バス路線再編等に係る方向性や可能性についての提案 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで市が行ったアンケート調査結果の活用や、佐々バスセンターを利用する地区や早岐支所管内の交通対策協議会における意見聴取を行う等、移動ニーズ等に関する調査を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・路線再編検討と併せて、連携策提案に関する実現可能性等を検証

NO	調査項目	調査内容	具体的手法や特記事項	役割分担		
				日本総研	市	事業者
(4)	交通不便地区対策に係る調査	バス事業として運行可能な超小型バスによる人口集積のある地区及びバス事業からデマンドタクシーへ移行を促す地区を具体的に検討し、その収支分析等を行い、具体的なサービス導入に向けた運行計画案を作成する。	(1)における経営シミュレーションについては、最終的に交通不便地区対策の調査の中で行う収支シミュレーションも合算して行うものとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・路線再編検討と併せて超小型バスの導入及びデマンドタクシーへの移行地区の選定基準等の検討および地区選定のサポート ・収支シミュレーションにおける導入可能性の検討 ・運行計画に関する基本方針の検討（超小型車両等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、市が進める交通不便地区対策や交通空白地区対策における課題解決につながるよう、新たな地区の対策方法や基準の見直しについての検討 ・具体的なデマンドタクシーの運行計画案の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・路線再編検討と併せて、デマンドタクシーへの移行および超小型バスの導入地区の提案（優先順位付け） ・具体的な超小型車両の運行計画案の検討
(5)	利用促進・需要創造策に係る調査	市民や来訪者を対象とした公共交通の潜在需要に関する調査を行い、割引切符や企画切符をはじめとする利用促進・需要創造に係る企画提案、及び需要推計・効果予測を行い、利用促進策を作成する。	・需要調査にあたっては協議会の委員の協力も得ながら、まずは利用促進策の仮説のアイデアだしを行い、その後、仮説の検証や実効性を調査していくものとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・調査案の作成、提案 ・利用促進、需要創造に係る企画提案および効果予測 	<ul style="list-style-type: none"> ・「利用促進、需要創造策に係る調査」の実施及びとりまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用促進策の実現性について検討
(6)	実施計画案のとりまとめ	上記の調査及びデータ等をもとにして、実施事業、効果、推進体制、事業費、スケジュール等を再編実施計画案としてとりまとめる。		<ul style="list-style-type: none"> ・計画案の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画案の調整 	
(7)	協議会等の開催	計画策定に向けて今後の交通体系のあり方を議論するため、佐世保市地域公共交通活性化協議会及び幹事会を開催する。		<ul style="list-style-type: none"> ・協議会資料の作成等 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料印刷等 	